



# とよなかの環境

## 2022年度 速報版

豊中市では「第3次豊中市環境基本計画」に基づいて環境施策を進めています。「とよなかの環境・速報版」（環境報告書）では2022年度（令和4年度）の活動実績をふまえて、環境目標に対する取組みの進ちょく状況の速報結果等を公表しています。

市民のみなさんからのご意見、ご提案を受けて、今後の施策の展開・事業の見直しを行います。



### 環境目標

目標  
1

よりよい環境をめざして多様な主体の  
パートナーシップで取り組む



目標  
2

1人あたり温室効果ガス排出量（t-CO<sub>2</sub>）を  
令和9年度（2027年度）までに、  
平成2年度（1990年度）比38.3%削減し、  
脱炭素社会をめざす



目標  
3

発生抑制・再使用と質の高いリサイクル  
（再生利用）の推進により、ごみの焼却処理量を  
令和9年度（2027年度）までに  
平成28年度（2016年度）比8%削減し、  
循環型社会の構築をめざす



目標  
4

みどり率27%で  
心豊かな豊中らしいまちをめざす



目標  
5

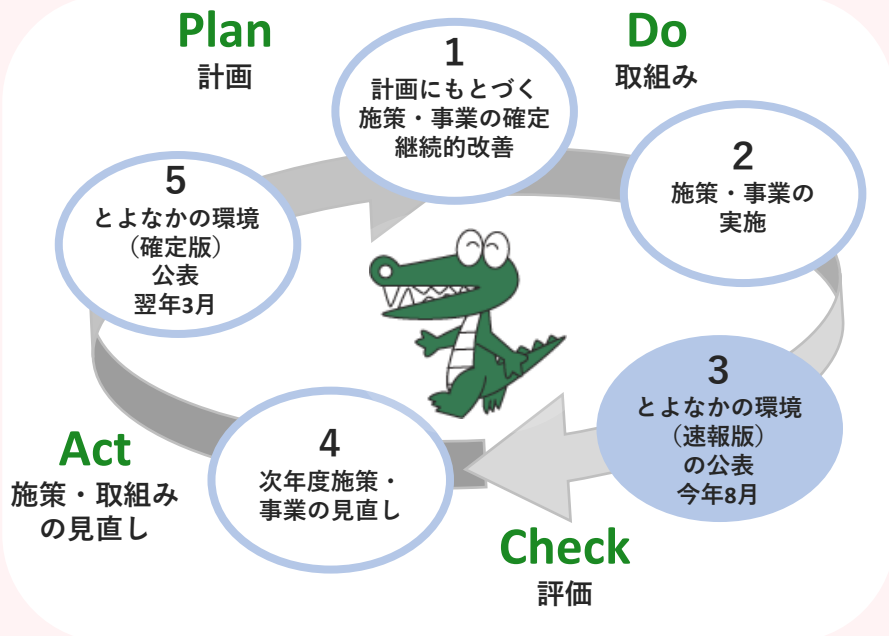
環境基準の達成状況100%で快適な  
都市環境をめざす



### 計画の進め方

計画の推進を着実に図るために、PDCAサイクルによって毎年度、活動を評価し、進行管理を行っています。

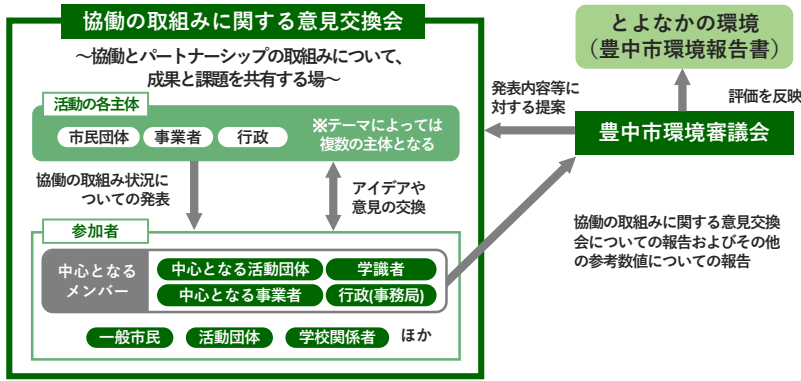
進行管理の中で、環境報告書を8月（速報版）と3月（確定版）に公表し、環境審議会と市民のみなさんからのご意見やご提案をもとに施策・事業を見直し、改善を図りながら、目標の実現をめざして取り組んでいきます。



# 2022年度 環境目標に対する進ちょく状況の見方

## 目標1

協働とパートナーシップの取組みに対する評価のプロセス



## 協働とパートナーシップの進行管理

多様な主体のパートナーシップの取組み成果や課題を共有する「協働の取組みに関する意見交換会」を毎年開催しています。

## 進ちょく評価

速報版では、「環境情報の提供」をテーマに実施した「協働の取組みに関する意見交換会」での一部の内容を紹介しています。

## 目標2～5

### 環境目標

各環境分野ごとに環境目標を設定しています。

### 市の取組み

市の主な取組み内容を紹介しています。

### 指標の進ちょく状況

代表指標は目標達成に最も影響を与えるものです。その他の指標は、代表指標を補完または影響を与えるものです。

豊中市の人口と  
比べながら、  
成果を見てみよう



豊中市の推計人口	
2022年4月1日現在	399,965人
2023年4月1日現在	399,029人

## 評価の判断基準

環境基本計画の進行管理として、目標2・4は、代表指標に目安線をひいています。目安線と数値の関係や前年度との比較でA～Dをつけています。

目標3は、第4次豊中市一般廃棄物処理基本計画の年度目標値に比較して評価をつけています。

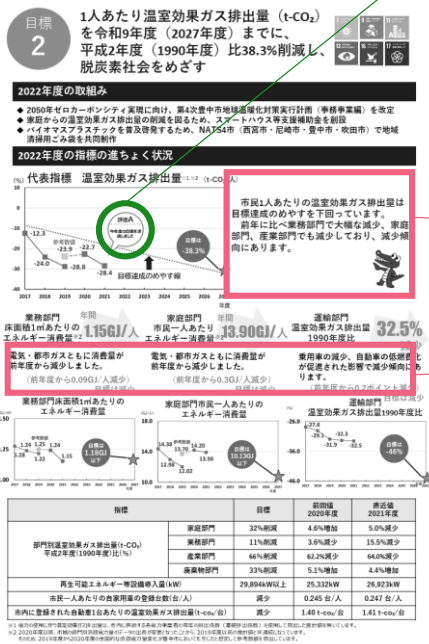
- A** 今年度の目標を達成しました  
目標達成のめやす以下かつ前回値以下
- B** 今年度の目標を達成しましたが、  
さらに努力が必要です  
目標達成のめやす以下かつ前回値より大きい
- C** 改善の傾向にありますが、  
更なる努力が必要です  
目標達成のめやすより大きく、前回値以下
- D** 改善の傾向にありません  
目標達成のめやすより大きく、前回値より大きい

備考：目標4は以上を以下、以下を以上に読み替える。大きいを小さいに読み替える。

目標5は、すべての環境基準を達成した場合「A」、達成していない場合「D」をつけています。

## 要因分析

代表指標および指標が「どうしてこのような結果になったのか」を市で要因分析しています。



## ご意見やご提案をお聞かせください

右の二次元バーコードから、「とよなかの環境・速報版」を読んで疑問点や各施策に関する要望、これから取り組むべきことなどにご意見やご提案をお寄せください。

2024年(令和6年)3月発行の年次報告書等で紹介いたします。

豊中市HP



# 目標 1

## よりよい環境をめざして 多様な主体のパートナーシップで 取り組む



### 2022年度の取組み

- ◆ 「持続可能な脱炭素社会づくり」など各環境分野における指標や施策事業の見直しを踏まえ、「第3次豊中市環境基本計画」を改定
- ◆ 動画共有サイトYouTube「とよなか環境TV」にて、随時環境に関する情報を発信

### 2022年度の協働の進ちょく状況

協働とパートナーシップの進行管理の一環として、多様な主体のパートナーシップの取組み成果や課題を共有する「協働の取組みに関する意見交換会」を毎年開催しています。

「協働の取組みに関する意見交換会」のテーマは「**環境情報の提供**」です。



#### 子育て世代へのSNSを通じた情報発信

##### 赤ちゃんからのESD coral

子ども服のお下がり品の回収・譲渡や子育て世代を対象にしたワークショップの実施。SNSを活用し、お下がり品の紹介や他団体が実施するイベントの情報発信を行っている。



#### 花とみどりの相談所での活動を通じた情報発信

##### 豊中緑化リーダー会

「緑化リーダー養成講座」を修了したメンバーで、豊島公園の花とみどりの相談所を中心に花壇活動、育苗した苗の配布やイベントを開催。緑化を通じた就業支援や環境学習を実施。



#### 太陽光発電等のホームページやイベント等を通じた情報発信

##### 豊中市民エネルギーの会

保育所の屋根に太陽光発電設備を設置し、運営管理を行う。また、小学校・幼稚園での環境に関する出前授業や、ベランダに設置できる小規模な発電設備の普及活動を実施。



#### 学校でのリサイクル、環境学習を通じた情報発信

##### 豊中市環境部家庭ごみ事業課 豊中市立新田小学校

小学4年生を対象とした収集車を用いたごみ分別の環境学習をきっかけに、児童が中心となって牛乳パックのリサイクルを実施。家族や他学年へリサイクルの取組みの発信を行っている。



協働の取組み紹介

成果・課題

- 子どもたちを通してリサイクルの取組みが家庭にも広がった。
- SNSで他団体の子育て支援情報を発信することで、子育て世代の孤立化を防ぐ活動につながった。
- 若い世代とのつながりの確保や社会構造の変化に対応した担い手の確保が課題。

今後の展望、活動のヒント

- 広域での子ども服回収・譲渡の仕組みづくり  
公共施設でのお下がり品の回収・譲渡ができれば、遠くに出向くことなくお下がり品を入手できる。
- 少子高齢化社会への対応  
小中高生と高齢者の橋渡しを行うことで、高齢者の孤立化防止や健康寿命を支え、両者の幸福に貢献。
- 「子どもたちのやりたいこと」を生かした協働  
小学生が自ら取り組み、発信することで自信につながり、次の環境に関する活動へ意識が向けられていく。1つでも多くの小学校に活動を広げることで周囲にも活動が広がっていく。
- 協働による課題の解決  
協働を行うことで問題の解決や相互の活動情報の発信が行われる。

# 目標 2

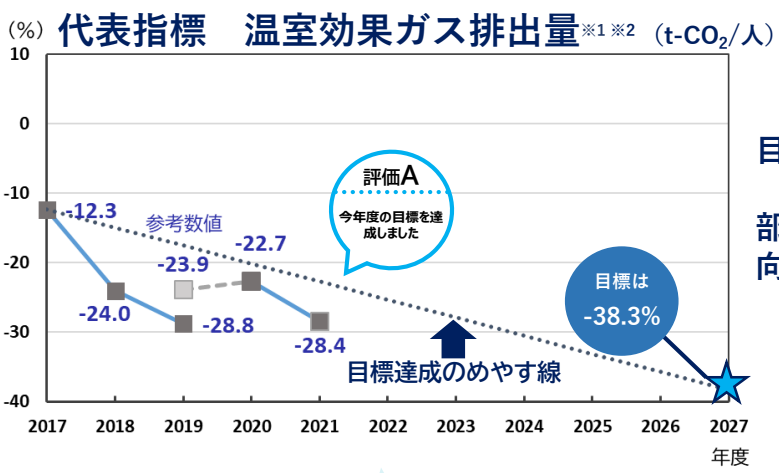
## 1人あたり温室効果ガス排出量 (t-CO<sub>2</sub>) を令和9年度 (2027年度) までに、平成2年度 (1990年度) 比38.3%削減し、脱炭素社会をめざす



### 2022年度の取組み

- ◆ 2050年ゼロカーボンシティ実現に向け、第4次豊中市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）を改定
- ◆ 家庭からの温室効果ガス排出量の削減を図るため、スマートハウス等支援補助金を創設
- ◆ バイオマスプラスチックを普及啓発するため、NATS4市（西宮市・尼崎市・豊中市・吹田市）で地域清掃用ごみ袋を共同制作

### 2022年度の指標の進ちょく状況



市民1人あたりの温室効果ガス排出量は目標達成のめやすを下回っています。前年に比べ業務部門で大幅な減少、家庭部門、産業部門でも減少しており、減少傾向にあります。



業務部門 年間 床面積1㎡あたりのエネルギー消費量<sup>※2</sup> **1.15GJ/人**

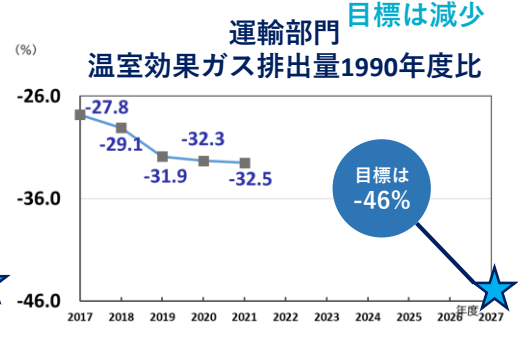
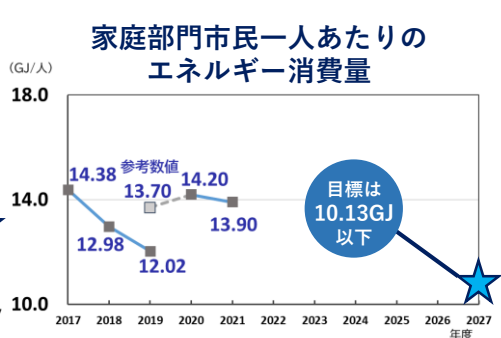
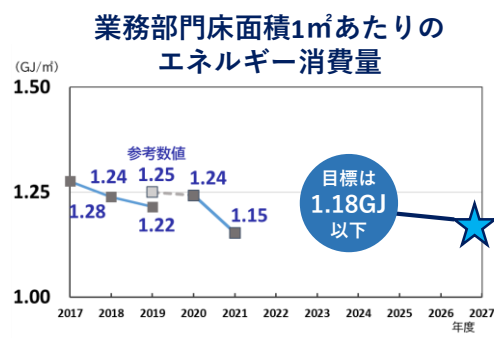
電気・都市ガスともに消費量が前年度から減少しました。  
(前年度から0.09GJ/人減少)  
目標は減少

家庭部門 年間 市民一人あたりのエネルギー消費量<sup>※2</sup> **13.90GJ/人**

電気・都市ガスともに消費量が前年度から減少しました。  
(前年度から0.3GJ/人減少)  
目標は減少

運輸部門 温室効果ガス排出量 1990年度比 **32.5% 減少**

乗用車の減少、自動車の低燃費化が促進された影響で減少傾向にあります。  
(前年度から0.2ポイント減少)  
目標は減少



指標	目標	前回値 2020年度	直近値 2021年度	
部門別温室効果ガス排出量(t-CO <sub>2</sub> ) 平成2年度(1990年度)比(%)	家庭部門	32%削減	4.6%増加	5.0%減少
	業務部門	11%削減	3.6%減少	15.5%減少
	産業部門	66%削減	62.2%減少	64.0%減少
	廃棄物部門	33%削減	5.1%増加	4.4%増加
再生可能エネルギー等設備導入量(kW)	29,894kW以上	25,332kW	26,923kW	
市民一人あたりの自家用車の登録台数(台/人)	減少	0.245 台/人	0.247 台/人	
市内に登録された自動車1台あたりの温室効果ガス排出量(t-co <sub>2</sub> /台)	減少	1.40 t-co <sub>2</sub> /台	1.41 t-co <sub>2</sub> /台	

※1 電力の使用に伴う温室効果ガス排出量は、市内に供給する各電力事業者の毎年の排出係数（基礎排出係数）を使用して算出した推計値を用いています。  
 ※2 2020年度以降、地域の部門別消費電力量のデータの出典が変更となったことから、2019年度以前の推計値と非連続になっています。そのため、2019年度から2020年度の全般的な消費電力量変化が豊中市においても生じた想定して参考数値を算出しています。

# 目標 3

発生抑制・再使用と質の高いリサイクル（再生利用）の推進により、ごみの焼却処理量を令和9年度（2027年度）までに平成28年度（2016年度）比8%削減し、循環型社会の構築をめざす

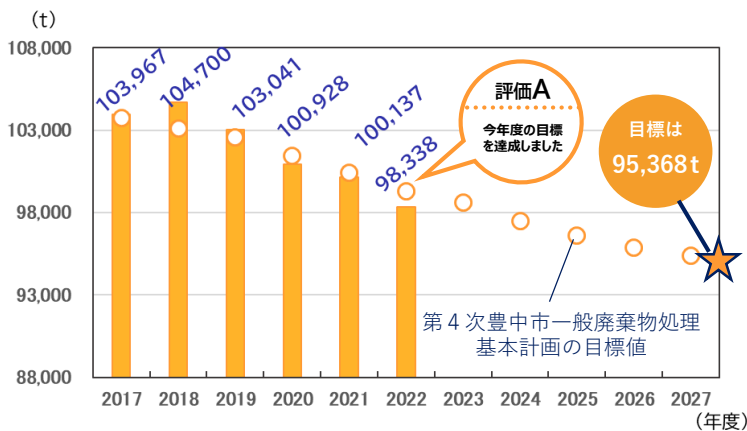


## 2022年度の取組み

- ◆ 廃棄物を取り巻く社会情勢の変化などに対応するため、第4次豊中市一般廃棄物処理基本計画ならびに第4次豊中市ごみ減量計画を改定
- ◆ マイボトルの利用促進およびペットボトル削減による環境課題の解決をめざし、鉄道駅構内における給水機設置の実証実験を官民連携で実施
- ◆ 環境保全意識の向上を図るため、マチカネポイントを活用した豊中エコショップ周知キャンペーンを実施

## 2022年度の指標の進ちょく状況

### 代表指標 焼却処理量 (t)



新型コロナウイルス感染症拡大当初は、家庭系ごみが増加する一方、事業系ごみが減少する傾向でしたが、Withコロナが定着し、人びとの外出の機会が増えたことにより、家庭系ごみが減少し、事業系ごみがわずかに増加しました。総量で見ると、ごみの減量は着実に進んでいます。



家庭系ごみ  
1人1日あたり  
排出量  
(再生資源を除く)

年間  
**404g**

Withコロナが定着し、人びとの外出の機会が増えるとともに、市民に対するごみ減量への意識啓発に関する事業の推進などにより減少しました。

(前年度から15g減少)  
目標値は約386g

事業系ごみ  
排出量  
(再生資源を除く)

年間  
**37,897t**

事業活動が徐々に回復を見せ、事業系のごみの量も増加に転じましたが、事業者のごみ減量の取組みにより、微増で推移しました。

(前年度から653t増加)  
目標値は約38,191t

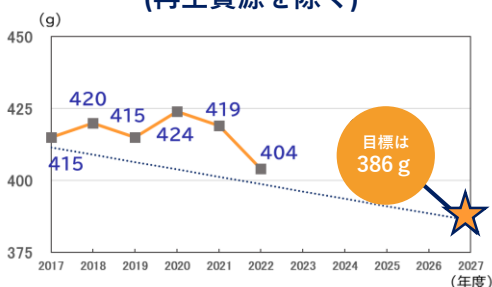
リサイクル率

年間  
**16.0%**

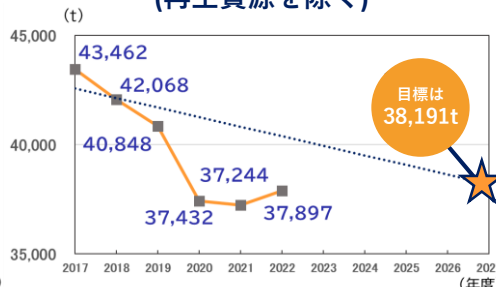
人びとの外出機会の増加に伴い、宅配やテイクアウトの需要が減り、容器包装等の使用が減ったこともあり減少となりました。

(前年度から0.3ポイント減少)  
目標値は約19.3%

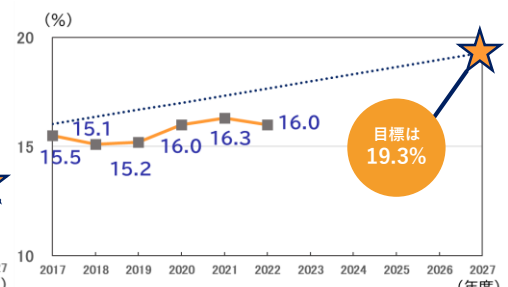
### 家庭系ごみ1人1日当たり排出量 (再生資源を除く)



### 事業系ごみ排出量 (再生資源を除く)



### リサイクル率



# 目標 4

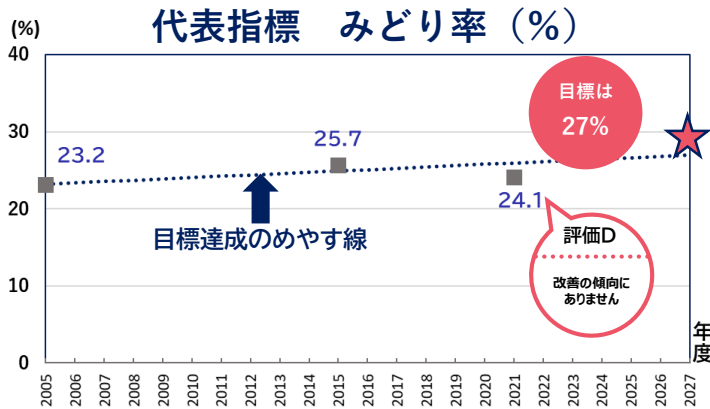
## みどり率27%で心豊かな豊中らしいまちをめざす



### 2022年度の取組み

- ◆ 市民の緑化活動を支援するため、新たな緑化助成金制度の策定及び既存制度の拡充
- ◆ 新型コロナウイルス感染症防止対策を行い、みどりに関するイベントとしてふれあい緑地フェスティバルを開催
- ◆ 豊中市内郵便局と連携し、美しいまちづくりを推進するため、市内における不法投棄を防止する取り組みを開始

### 2022年度の指標の進ちょく状況



代表指標のみどり率は、開発行為や自然災害の影響による樹林・樹木の減少、草地・芝地・屋上緑化の増加や樹木の生育状況を総合して、減少傾向となっています。

なお、みどりに関するイベント参加者数が増加傾向にあることから、市民のみどりに対する関心度の高まりが見受けられます。



#### 2021年時点

みどりに対する満足度

**75.0%**

前回調査（2017年度）の78.3%よりやや減少しているものの、目標値（70%）以上で推移しています。

※2022年度調査実施無し  
目標値は70.0%

みどりに関するイベント参加者数

**14,510人**

3年ぶりに開催した野外イベントにより、前年度より大幅に増加しました。

（2018年度からの累計50,082人）  
目標値は累計150,000人

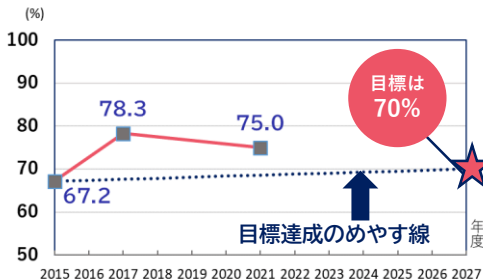
市民1人あたりの公園・緑地面積

累計 **7.12m<sup>2</sup>/人**

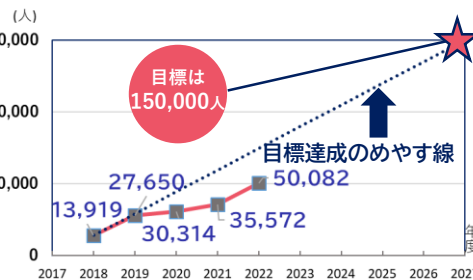
公園面積の微増、人口の微減により、前年度より微増しました。

（前年度から0.01m<sup>2</sup>/人増加）  
目標値は7.17m<sup>2</sup>/人

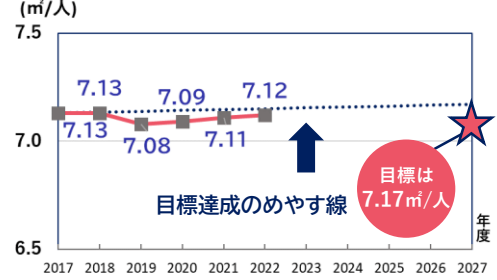
#### みどりに対する満足度



#### みどりに関するイベント参加者数



#### 市民1人あたりの公園・緑地面積



指標	目標	前年度 2021年度	直近値 2022年度
緑被率(%)	15.7%	12.9%	-
市民参加による生物調査の参加者数(人)	増加	89人	76人
生物多様性の認知度 （「言葉の意味を知っていた」の回答比率）	増加	26%	-
景観に関する項目が盛り込まれている地区計画・協定等の数(件)	増加	49件	49件

# 目標 5

## 環境基準の達成状況100%で 快適な都市環境をめざす

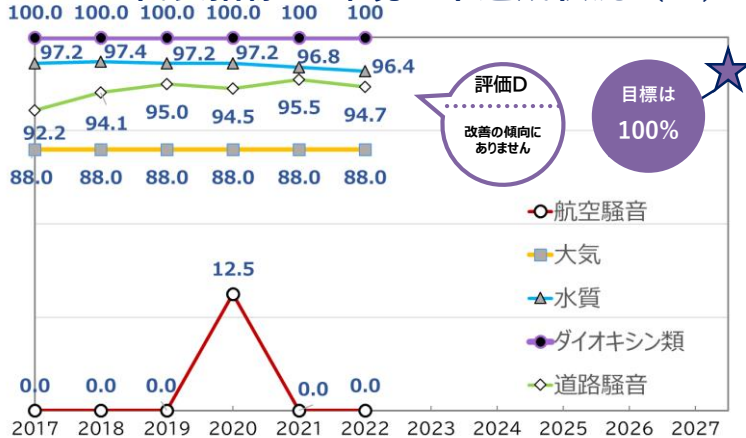


### 2022年度の取組み

- ◆ 工場、事業場に水質汚濁や大気汚染防止のための立ち入り検査を実施
- ◆ 開発行為において、壁面緑化や屋上緑化など多様な緑化計画の協議

### 2022年度の指標の進ちょく状況

#### 代表指標 環境基準達成状況 (%)



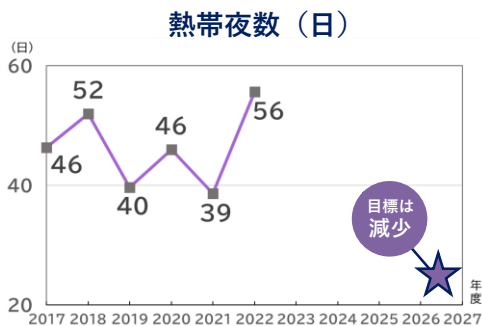
前年度と同様に大気、水質、道路騒音では高い環境基準達成率を維持しています。  
また、ダイオキシン類は環境基準達成率100%を維持しています。



熱帯夜数  
(3地点平均日数)

年間  
**56日**

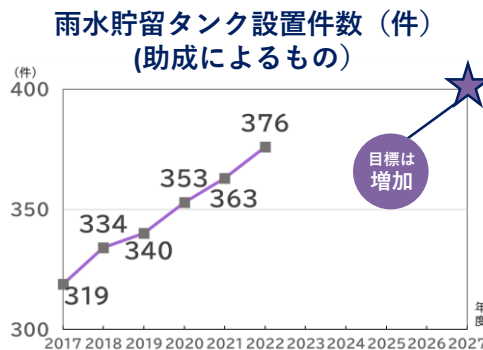
平年よりも気温の高い日が多く、これに伴い熱帯夜数も増加しました。  
(前年度から17日増加)  
目標は減少



雨水貯留タンク  
設置件数  
(助成に係るもの)

累計  
**376件**

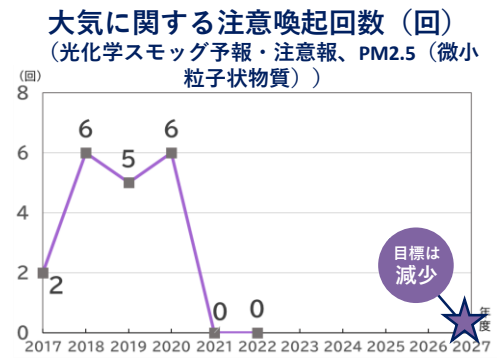
前年度に引き続き増加しました。  
(今年度13件。前年度10件)  
目標は増加



大気に関する  
注意喚起回数

年間  
**0回**

光化学スモッグ注意報等の注意喚起発令はありませんでした。  
(前年度から変化なし)  
目標は減少



指標	目標	前回値 2021年度	直近値 2022年度
1日1人平均給水量(L)	減少	297 L	293 L
透水性舗装の類型面積(m <sup>2</sup> )	増加	47,161 m <sup>2</sup>	48,325 m <sup>2</sup>
雨水貯留タンク設置件数・容量(助成によるもの)	増加	73,192 L	75,332 L
環境配慮のうち雨水利用に関するもの	雨水利用累積件数(件)	10 件	11 件
	容積容量(L)	178,585 L	178,735 L